

日高・胆振知的障がい児・者家族会 通信

家族会ニュース

日高・胆振知的障がい児・者家族会
会長 津脇清一郎



会長 津脇清一郎

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、当家族会の事業活動につきまして格別なご支援、ご協力を賜り、衷心より御礼申し上げます。今年のお正月は、全道的に天候も良く穏やかな新春を迎えられたのではないのでしょうか。

さて、昨年、安倍総理から「一億総活躍社会」と発せられ、これまでの「三本の矢」のアベノミクスの政策が、新たな段階を迎えたのだらう



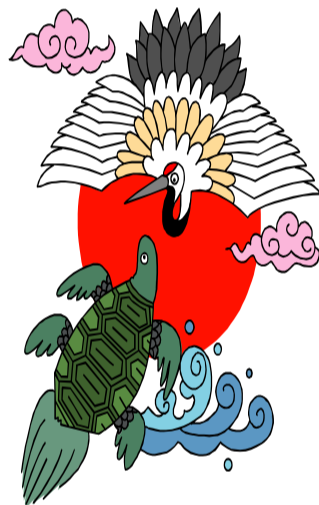
と、新聞、テレビ等で情報収集に相当な時間を費やし、年の暮れ頃には、だいぶ政策の理解ができるようになったところ。少子高齢化が進む日本の将来が、労働力の低下を始め、各分野に与える影響の大きさから、何とか手立てをする時期を迎えたのは確かです。

昨年、十一月二十六日の「一億総活躍会議」での開示された資料から「包摂と多様性がもたらす 持続的な成長」

若者も高齢者も、女性も男性も、障害や難病のある方々も、一度失敗を経験した人も、みんなが包摂され活躍できる社会、それが一億総活躍社会である。すなわち、一人ひとりが、個性と多様性を尊重され、家庭で、地域で、職場で、それぞれの希望がかない、それぞれの能力を發揮でき、それぞれが生きがいを感じることができるといえる。そのため、一人ひとりの希望を阻む、あらゆる制約を取り除き、活躍できる環境を整備する。(一部抜粋)

おめでとーいございます。

平成27年度 第3号 (通巻17号)
発行
日高・胆振知的障がい児・者家族会事務局
苫小牧市字植苗一・二番地八
緑星の里やまぶき
印刷発行 2016年1月



以上の資料から、私たち家族会としても、来るべき将来に備え、まだまだ取り組むべき事柄を含め、障害福祉サービスを必要とする人たちのために種々、環境を整える一助を果していくことが、「一億総活躍社会」への参画の証になることなのか、輝かしい新春を迎えながら、私案してみたことであつたのです。

最後になりますが、今後とも各家族会の皆さまの力をお借りしながら、利用者の暮らしが少しでも豊かなものになれますように、日高・胆振知的障がい児者家族会の活動を推進していきたいと思っております。どうぞ本年もご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、皆様の「健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

おめでとーいございます。

時事通信

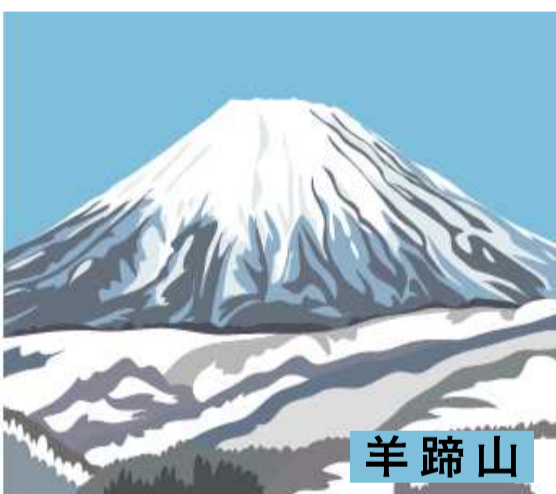
代読も合理的配慮

厚生労働省、医療事業者へ配慮
障害者差別解消法

厚生労働省は十三日、今年四月施行の障害者差別解消法に関連し、医療関係事業者向けの対応指針を公表した。二〇一五年七月に示した原案と比べ、合理的配慮の事例や障害特性に応じた対応の事例を増やした。

合理的配慮の事例としては「代読・代筆」「文章の読み上げ、口頭による説明」を原案に加えた。

(一月二十五日福祉新聞より抜粋)



羊蹄山

日高・胆振知的障がい児・者家族会入会のご案内

随時会員募集中



会議予定

道家族会連合会役員会議

日程 平成二十八年二月二十七日

会場 札幌市産業振興センター

研修案内

平成二十八年年度第十二

全国施設家族会連合会

☆全国大会イン福岡☆

開催テーマ

「新しい施設」を語ろう

―当事者の笑顔耀く日のために―

日程 平成二十八年十月十八日～十九日

会場 ホテルセントラーゼ博多

編集後記

一月に入り、新たな気持ちで年度末に向けての準備を進めております。

日胆家族会につきましても、三月に役員会を予定しており、例年五月には道家族会の総会・研修会が開催されますので、詳細が届き次第ご案内いたします。

